

# 伊豆東部火山群の噴火による熱海市への影響

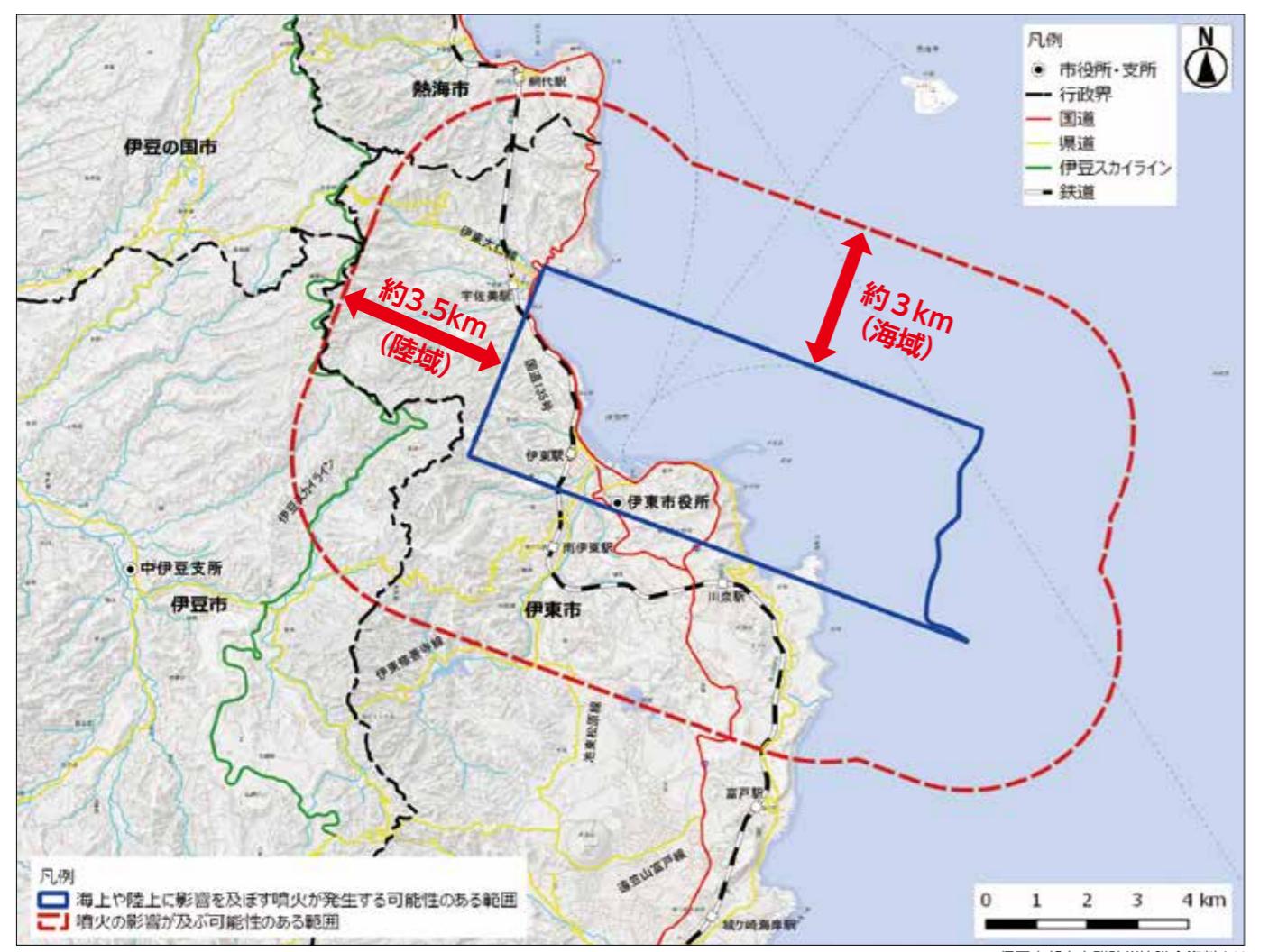
●伊豆東部火山群とは、伊豆半島東部の陸域に位置する火山群（東伊豆単成火山群）及び、その東方の海域に位置する海底火山群（東伊豆沖海底火山群）の総称であり、伊東市及び伊豆市にまたがっている火山群です。

●令和元年6月3日、伊豆東部火山群において、熱海市が火山災害警戒地域として指定されました。

## 「指定理由」

伊豆東部火山群防災協議会において、国の火山防災マップ作成指針に基づき再計算した結果、噴火の影響の及ぶ範囲が2kmから3.5kmに拡大され、協議会において承認されました。熱海市では、想定火口域はありませんが、噴火の影響範囲の拡大により、熱海市的一部が噴火の影響の及ぶ範囲に含まれることから、活動火山対策特別措置法により火山災害警戒地域として熱海市が指定されました。

## 噴火の影響が及ぶ可能性のある範囲



○「海上や陸上に影響を及ぼす噴火が発生する可能性のある範囲」から概ね3.5km（海域で噴火した場合は概ね3km）の範囲を「噴火の影響が及ぶ可能性のある範囲」として赤く表示しました。

○実際の噴火の影響範囲は噴火地点により異なります。赤い範囲全体が同時に危険になるわけではありません。

### ■ 海底噴火のイメージ

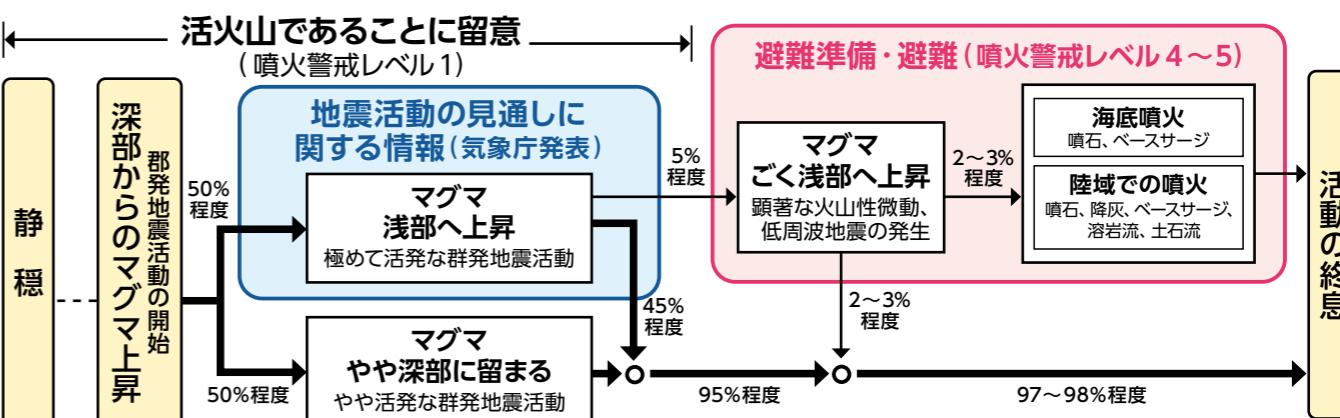
火口から概ね3.5kmの範囲は危険



### ●ベースサージ

火山ガスと火山灰等の混合物が、水面や地表面を高速で横方向に広がり、地表の物を巻き込むなどして、人体や建物、船舶等に大きな被害を与えるおそれがあり、とても危険です。

## 伊豆東部火山群に関する情報と噴火警戒レベル



### 地震活動の見通しに関する情報

地下のマグマ活動による群発地震活動の発生が予測された場合に発表  
予測項目  
・最大地震の規模と震度  
・震度1以上となる地震の回数  
・活動期間

- 上図は、「伊豆東部火山群の火山防災対策検討会」が作成した図を簡略化したものです。
- 図中の%の数値は、過去の事例と火山学的な知見に基づき推定された発生頻度を示す目安です。
- ここで想定されていない火山現象がまれに発生することもあります。
- 活動の途中や終息後、マグマが再度深部から上昇すると、新たな群発地震活動が始まることがあります。

## 伊豆東部火山群の噴火警戒レベル

予報警報	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動	想定される現象等
噴火警報	レベル5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>マグマ水蒸気爆発の発生により大きな噴石、ベースサージが居住地域に到達する。</li> <li>低周波地震活動の多発、火山性微動の発生。</li> </ul> <small>過去事例 平成元年（1989年）7月11日の低周波地震活動の多発、火山性微動の発生、7月13日の海底噴火。</small>
火口周辺警報	レベル4 (高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まっている）。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者の避難、住民の避難の準備等が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>低周波地震活動の活発化。</li> </ul> <small>過去事例 平成元年（1989年）7月10日の低周波地震活動の活発化。</small>
火口周辺警報	レベル3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。危険な地域への立入規制等。	<p>【レベル2、3の発表について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動が活発化するとき 噴火の可能性が高まっていく段階では、レベル2、3の発表はなく、レベル4以上が発表されます。</li> <li>活動が沈静化するとき 火山活動が沈静化し、レベル5からレベルを下げる段階で、火山活動の状況に応じてレベル2、3を発表する場合があります。</li> </ul>
噴火予報	レベル2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。火口周辺への立入規制等。	
噴火予報	レベル1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。 [ 地震活動の見通しに関する情報の発表 ]	住民は通常の生活。 [ 危険な場所を避けたり、家具を固定するなど、大きな揺れに対する対策が必要。 ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>火山活動は静穏。</li> <li>活発な群発地震活動により、最大震度5弱～6弱程度の大きな揺れとなることがある。</li> </ul> <small>過去事例 平成18年（2006年）4月、平成21年（2009年）12月の群発地震活動等。</small>

注1) ここでいう「大きな噴石」とは、主として風の影響を受けて弾道を描いて飛散するものとする。最新の噴火警戒レベルは気象庁HPでもご覧になれます。

注2) 噴火警報（噴火警戒レベル4（高齢者等避難）、5（避難））は、特別警報に位置付けられています。 <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>